

防災塾・だるま事業 『Bo-sai2015』 出展レポート

平成 27 年 9 月

「災害発生！トランシーバの活用」

災害時において利用できる通信手段のトランシーバの使い方を体験！

(防災塾・だるま・ホームページ：<http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

日 時：2015 年 9 月 6 日(日) 11:00-16:00(10 時集合) 場 所：日本大通り(神奈川県庁前の車道)

◆ 防災塾・だるま リーダ:片山晋 写 真:田中喜世美 記 録:紅林敏行

◆ 参加者：伊東幸保、黒須恵子、山田美智子、田中晃、小原茂、青野秀夫、三浦孝悦、稲垣博正、
田中喜世美、早川雅子、鈴木徳之、松井邦佳、山田富士夫、石井栄一、紅林敏行、
片山晋 計 16 名 (敬称略)

◆ 交信 トランシーバ 体験者：60 名

当日の天気は、「曇りのち雨」。日本大通りでは、横浜青年会議所主催の「GLOBAL SUNDAY MAKET」(世界各国の様々な料理、日用品、食料品、工芸品などが販売)も開催。また、山下公園では午前 10 時から正午まで「横浜市総合防災訓練(九都県市合同防災訓練)」が実施。

●10:00 に神奈川県庁前の道路に設置された「防災塾・だるま」の展示ブース前に集合。片山さんから当日の運営内容を聞く。「GLOBAL SUNDAY MAKET」が始まった。中国獅子舞の賑やかな音が聞こえてきた。



写真:

左『10:40 集合写真』 中『10:00 片山さんから当日の運営内容を聞く』 右『Bo-sai2015 の入口(開港資料館前交差点側から)』

主催：横浜青年会議所 『Bo-sai2015』

「私たちのまちは私たちが守ろう！

今こそ地域のチカラ」

「助かるエリア」「備えるエリア」「生きるエリア」「学ぶ
エリア」の 4 つのエリアに多様な 12 のブースを用意して、
地域の人たちに防災を考えてもらう。

<http://www.yokohama-ic.or.jp/2015/09/08/19941/>

「防災塾・だるま」は、『助かるエリア』に出展

～「トランシーバ体験」を通して被災時の情報を考える～

- ・トランシーバの有効性を勉強し、使い方の基本を習得
- ・トランシーバを使って交信体験リ-を行う
- ・交信リ-完成により終了証を発行

「防災関連のディスプレイ表示」

- ・トランシーバの使い方、J-DAG の説明等の映像

「防災塾・だるま紹介パネル」等の資料配布



写真:

左:『「防災塾・だるま」の出典ブースの様子(片山さんの力作を多数掲示)』

中:『助かるエリア「起震車体験」で震度 6 を体験(参加者も各エリアのブースを回り、防災を学ぶ)』

右:『Bo-sai2015 の案内看板』

11:00、ブースの隣の簡易ステージにて、挨拶、開会宣言があり、スタッフリ-をスタート。起震車のブースでは

スタート前から多数の順番待ちが発生。私たちブースでも呼び込みを開始。

●「トランシーバの有効性」を学ぶ

災害発生直後には、速やかな「全員の安否確認」「初期消火」「救出活動」「避難指示」「皆で逃げる」などが遅れると犠牲者が出ます。これらにいち早く対応するには情報と連絡が必要です。

しかし、大災害時には電話も携帯電話もインターネットも途絶します。

そんな時の「トランシーバ」は強力なツールです。

●「特定小電力トランシーバの使い方」の基本をブースの前で体験。

話すときは 左の送信(PTT)ボタンを押しながら

聞くときは ボタンから手を離す

⇒最初は、「ボタンを押す」のを忘れて話してしまう。

●トランシーバを使って交信体験コーナーを体験。

予め設定した交信チャットのトランシーバを携帯した3名のだるま会員が自由に各エリアのブースを回っている。

体験者：「こちらは、XX 太郎です。〇〇番の方どうぞ！」(〇〇：交信チャット)

交信者：「こちらは、〇〇番のXX 次郎です。どうぞ！」

体験者：「いま、どのブースにいますか？どうぞ！」

交信者：「こちらは、XX エリアのXX ブースにいます。どうぞ！」

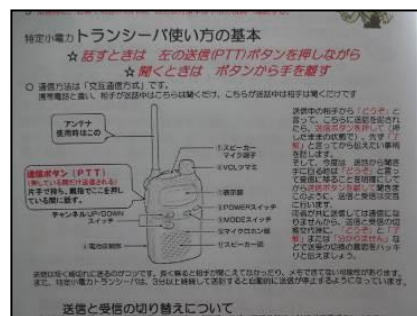
体験者：「キーワードを教えてください、どうぞ！」

交信者：「キーワードは、□□□です、どうぞ！」

(片山さんが設定した各ブースのキーワードを返答)

体験者：「ありがとうございました。どうぞ！」⇒終了証授与！

交信者：「ありがとうございました。どうぞ！」



写真：ブース前の『「交信体験コーナー」の様子』

子供さんから年配の方々まで体験。お昼頃からは子供連れの家族の参加が増えた。横浜市災害本部の腕章を付けた人達が「横浜市総合防災訓練」の帰りに立ち寄った。子供との交信体験は孫との会話の様になり、次から次へと休みなく交信体験コーナーを実施。順番待ちになった時は先に起震車体験を勧める。お昼をとるのも難しく、ブース内でお握りを頂く。港らしく船の汽笛も聞こえてきた。また、交代でスタンプラリーに参加し、他のブースをのぞいて学ぶ。被災者の捜索等を目的としたドローンの展示、AED体験、簡単手作りラップ、備蓄品のおいしい食べ方、東北の物産販売(高松さん)等、賑やかにスタンプラリーが実施された。15:30頃から雨が降り出し、来訪者も少なくなったことからブース内の片付けを始める。15:45からアイドルの歌があり、そして閉会宣言。16:00に終了し、テト等の片づけを始めた。雨脚も強くなってきた。緑の葉の仔刈り並木は雨に濡れていた。片山さんの車が到着したので機材・備品等運び込む。そして片山さんが事業終了の挨拶をして、16:15頃に解散。

片山さん、そして参加者の皆様、ご苦労様でした。